

さんかく

*この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。
女性(Female)と男性(Male)がともに支え合い、対等な立場で社会(Society)を形成することを願って!!
平成31年(2019年)2月25日 第27号
企画課 男女共同参画室(内線2238)

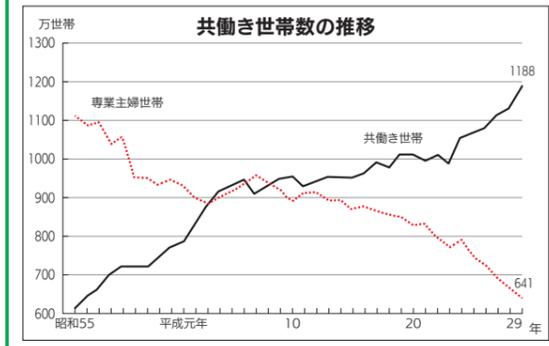
平成を振り返る男女共同参画

平成も残すところあと2カ月余りとなりました。この約30年間で社会にどのような変化があったのでしょうか。男女共同参画の視点から、そしてこの男女共同参画情報紙「さんかく」の歴史と共に、皆さんと一緒に振り返ってみましょう。

それぞれの個性が輝く未来へ

平成の約30年間で様々な変化がありました。このような変化により、以前に比べ、より多くの女性が社会に出て活躍することができるようになりました。

共働き世帯が増加した背景には様々な要因があると思います。「男は仕事、女は家庭」という従来の価値観が変わりつつあり、徐々に女性にも働きやすい社会へと変貌を遂げています。



実は、中学校・高等学校で家庭科を男女とも学ぶようになったのはこの頃からです。それまでは、女子が家庭科を受けている間、男子は技術や体育を受けていることが多かったようです。今の学生の皆さんには、驚きの実事ですね。

市民と共に男女共同参画を考えようという目的で発行。それぞれが対等な立場で社会を形成することが正三角形の形になるようにという願いが込められています。

『さんかく』は...

女性活躍推進法

女性が個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主に義務付けられました。

*常時雇用する労働者が300人以下の民間企業等は努力義務

五所川原市が策定した計画(数値目標)と現状は?

	職員1人当たりの超過勤務時間数	係長以上の女性役付職員の割合	育児休業を取得する男性職員の割合
H27	5.1時間	12.9%	0%
H28	4.1時間	12.6%	25%
H29	4.5時間	13.8%	20%
目標	4.5時間未満	15%以上	15%以上

女性の社会進出という面では「男女共同参画社会」が進展したように思いますが、新たな課題も出てきています。

これから先、時代と共に変化していく課題に対応するため多様性を受け入れることが、より一層必要になってきます。

性別にとらわれず、それぞれの可能性を發揮できる新しい社会を目指して、皆さんも今一度、自分自身を振り返ってみましょう。

編集後記

男女共同参画社会の情報発信を始めて15年。(わんつかでもわかってもらえたでしょうか?) 毎日のコミュニケーションで話題にしていけたらいいなあ~(S)

▲編集:さんかく編集委員6名▲